

SFC全ソフトカタログ【上巻】

1995年4月21日発行
株式会社エイ出版社
第2刷 第1版
平成5年3月1日第3種郵便物認可

攻略 クロノ&第4次

電撃スーパーファミコン

衝撃速報

ハドン 中本氏 天外魔境ZEROを語る

スーパーファミコンは任天堂の商標です

No. 7
4月21日号
特別定価 620円



SFC全ソフトカタログ 決定版！豪華版！永久保存版！

100冊特大付録 ゲーム百科全書【上巻】 1990~1995

ゲーム歴史のみ／'95年3月31日までに発売されたスーパーファミコンの全ソフトを収録！

上下巻合わせると、みごとなゲーム百科のできあがり！

「転職システム」をよりくわしく紹介

本邦初公開！オープニングビジュアル
聖獣魔伝ビースト&ブレイド

くわしい攻略、ますます佳境！「裏攻略」つき

第4次スーパーロボット大戦

●スーパー・フラッシュ ●ミスティック・アーク / バウンティ・ソード / すーぱーなぞぶよ / シムシティ2
●超攻略 ●旧約・女神転生 / レディストリーカー / 魔法陣グルグル / 幽遊白書FINAL / スーパーフォーメーションラングッカー95

ドラゴンクエストVII
後半部分をチャートつきで大攻略/2度めの楽しみ方もあり

クロノ・トリガー



© 1995 TONG KING SHOW

"新ジャンル"という言葉を最近とんと聞かなくなってきた。すべて既成ジャンルをミックスさせるだけの、「そういうやあアレに似てるんだよねえ」ってなソフトばかりの昨今に、ハード側からのドロップキック。ついに発売日決定ですぞ! そうゲーム界の未開の地を切り拓く革命児、驚異の立体映像マシン "バーチャルボーイ" が。これぞ新ジャンル誕生の瞬間!!

7月21日に決定!! バーチャルボーイの発売日は

そしてウルトラ64発売のスケジュールが見えてきた

春には出るといわれていたものの、ちょっと予定が遅れ、先取りキッズたちをヤキモキさせていた、"バーチャルボーイ(VB)"の発売日が7月21日に決定。夏休みにたっぷり遊べるナイスタイミングで定価¥15,000(税別)で任天堂から発売される。

昨年の初心者ソフト展示会でついに謎のペールを脱ぎ、そして半年、ついにボクらの手元に届くことになるこのマシンの特徴といえば、その驚異的な立体映像。小型LCDディスプレイ2台が、左右両眼に送る映像は、プレイヤーを"ゲーム空間"という仮想次元にズブズブと浸らせてくれる。"奥行き"という新機軸を打ち出したこの新ハードが、いったいどんなゲームを生み落してくれるのか、楽しみなどろだよね。

さて、新感覚の映像がウリモノだけに、チェックしたいのはソフトのこと。任天堂からは、本体と同時に数本が発売予定だ。の中にはもちろんマリオシリーズも登場するハズ。ギヨコを食べたマリオが、ギューンと画面手前まで飛び出してくるなんという楽しいモノになるかもしないぞ。

新ハードといえば、気にせずにはいられないのがやっぱりソフトのお値段。任天堂によれば、4千円台が

中心のことで、5千円以上といふことはありえない

ようだ。本体とソフト1本で2万円以内といふのは、

SFCソフトの定価が1万円強というのも珍しくない

最近ではかなり魅力的な価格だ。

サードパーティからの援護射撃も、右の表を見ればわかる通り、ナカナカのもの。ナムコ、ハドソンの老舗を始め、強力なラインナップだ。発売時期だけど、従来の開発技術とは異なる技術を使うためか、本体と同時に発売というわけにはいかないようだ。夏休み後半にはかなりのサードパーティ製VBソフトが店頭に並んでいるハズだ。

任天堂は発売初年度に200万台を販売する予定。赤色のモノクロ画面、ひとりでのぞき込むために多人数で同時に楽しむことができないなどいろいろと贊否両論ありそうなマシンだけど、今までのゲームとはまったく違った新マシンの登場となりそうだ。雑誌

メディアではその仮想現実を伝えることができないだけに、「ロコモ」的な広がりかたで夏以降ジワジワとゲームやってくるんじゃないかな。

さて任天堂の今年の戦略は、このVBと衛星データ放送"スーパーファミコンアワー"そして年末のウルトラ64が3本柱だ。ここでVB以外の柱の状況をチェックしておこう。スーパーファミコンアワーは4月23日に放送開始。タモリや内田有紀ちゃんなど豪華なバーチャリティたちにぎやかオンドニアりそうだ。そしてキミたちの最大の关心事、ウルトラ64のほうも順調でどうやら予定通り年末に発売されるようだ。もともとハードのほうはすでに完成しているとの情報もあるがソフトがそろわないという状況。しかし、ココへ来て開発もスピードアップ。ソフト數本とともに年末商戦に満を持して登場するだろう。

とにかく、この大攻勢のイキオイはすさまじいばかり。今年は任天堂が熱いぜ。

VBソフトはこのメーカー

アスキー	TNN
アトラス	東宝
カルチャーブレーン	ナムコ
ケムコ	ハドソン
タカラ	ヘクト
J・ウイング	魔法
ティーアンドイースト	やのまん

出荷台数では、セガサターン、 プレイステーションが好調続く!

昨年暮れに、各機種出そろった次世代機。各馬がりあえず、レース場に足を並べてから、はや4か月。業界外部まで、まき込んだ大ブームも一応鎮静化し、次世代機が「現行」機として認識されつつあるという段階に移行している。

ここまで各馬の走りっぷりを見てみると、S.S.、P.S.が、それぞれ出荷台数80万台(編集部調べ)と、予想を上回る好調を続けていく。一方、先行発売し、イッキに逃げきりを狙っていた3.D.O.のほうは、苦戦をしいでいる模様だ。S.S.とP.S.は、4か月という短期間で、それぞれ100万台に手が届くというイキオイ。お互いがライバル関係にあるにも関わらず、同じ出荷実績を誇るというのはナカナカおもしろいところ。S.S.は「デイトナU.S.A.」、P.S.は「アーケードラッド」という具合で、両陣営ともに良質ソフトをこれからもガンガンと/orろえてきそううなだけにこのせめぎ合いはしばらく続きそう。

さて、おもしろいのはS.S.とP.S.の出荷台数をあわせた160万台という数字。実は、この160万台、スープラミが発売されてから4か月間の出荷実績とほとんど同じなのだ。つまり今のS.S.、P.S.をあわせた状況は、スープラ

ミ発売後4か月の段階と重ねあわせができるってワケ。

ここで、スープラミ発売後4か月を思い出してみよう。本体と同時に、「マリオ」、「F-ZERO」という強力なソフトで引っ張り、「グランディウス」、「ファイナルファンタジイ」などアーケード有名ソフトの移植で販売台数を順調に伸ばしていた段階だ。

コレって「バーチャ」「リッジ」で引っ張り、「デイトナ」「闘神伝」で販売実績を増やすというS.S.、P.S.の展開とソックリ。まるで、スープラミの歩んできた道をトレースするように、順調に成長を続けている様子がうかがえるのだ。

スープラミのほうは、発売ちょうど半年後には、「FFIV」というメガヒットソフトが発売。これで、イッキにブレークして、出荷実績をアップさせたのだ。ン? となると、これから2か月くらいの期間に出るソフトがS.S.、P.S.がブレークするカギとなる? そうなのだ。任天堂ウルトラ64が、予定通り年末には発売されそうなだけに、夏にどれだけ「売る」かは、各次世代機にとって、重要なターニングポイントとなりそうだ。第2次次世代ゲーム機戦争幕開けの夏になりそう!?

セガサターン

**出荷台数:80万台
秋葉原価格:平均¥38,783**

売れ筋ソフト 2/27~3/12

- ①ハンツアードラグーン
- ②アイドル雀士
- スチーパイSpecial
- ③バーチャファイター

**出荷台数:
80万台
秋葉原価格:
平均¥39,435**

売れ筋ソフト 2/27~3/12

- ①闘神伝
- ②キリーカ・ザ・ブラッド
- ③リッジレーサー

プレイステーション

*ハード価格は3月末日の秋葉原の6 SHOPでの平均価格です。

バーチャルボーイも出展! GAME EXPO'95

3月24~26日の3日間にわたって幕張メッセで開催されたGAME EXPO'95はちょっとした話題を呼んだ。というのも、一般の人方が初めて任天堂のバーチャルボーイ(V.B.)を体験できたイベントだったからだ。ほかソニーのプレイステーションソフトも一大ブースを構えていて新作ソフトがぞんぶんにプレイできたぞ。

さて気になるV.B.ソフトだが、去年の業界向け展示会(初心会ソフト展示会)に出展されたソフトと比べれば、かなりバージョンアップ、発売が本格的に近づいたという印象だ。新しく発表されたソフトもあり、任天堂「マリオズドリームテニス」(S.P.G.)、T&Eソフト「レッドアラーム」(S.T.G.)がプレイできた。またハドソンのS.T.G.も上映されており、サードパーティの開発も順調に進んでいるようだ。

発売日、価格も決まり、あとは待つばかり!?



カプコンの大攻勢か!?

今年のカプコンは、次世代機に力を注ぐ!? 3月15日付けの日本経産業新聞によるカプコンは、32ビット次世代機向けのソフト26タイトルを4月から1年間のうちに発売する予定、と報じているのだ。その内容をざっと紹介すると、P.S.向けが12、S.S.が9、3.D.O.が5タイトル。立体版『ストII』ともいえる、『バーチャ・ストリートファイターII』(仮称)など、大半がボリゴンを使った立体画像がメインのものと伝えている。一方、S.F.C.は8タイトルが予定されているという。何だか今年のカプコンはあらゆる機種に大攻勢。ファンならずとも気になる情報だ。

◆大人気ゲーム「ストII」から派生した「アーニアニメ」の展開のほうも今後が感心的だ。今年はカプコン

◆